

地域連携パス部会

役割	山形県がん診療連携協議会設置要綱第2条（6）に規定する「地域連携クリティカルパスの整備に関すること」の協議事項として、がんに関する地域連携クリティカルパスの整備について、詳細な検討を行うために設置。
部会長	山形大学医学部附属病院 元井 冬彦
長期目標	がん診療連携拠点病院の指定要件及び山形県がん対策推進計画に基づき、 <ul style="list-style-type: none"> ● 5大がんの地域連携クリティカルパスを整備する。 ● 県内どこでも質の高いがん医療が受けられるよう、連携医療機関の登録を推進する。 ● 地域連携クリティカルパスの運用における問題点を集約し、改善を図る。
令和7年度部会開催日	令和7年7月31日(木) Zoomによるオンライン形式
令和7年度活動内容	<p>① 地域連携クリティカルパスの運用状況及び連携医療機関数登録状況（資料6-2、6-3）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運用数累計：2,517件（R7.11.30現在） ・R7運用数（4月～11月）：134件（R6比：+17件） ・連携医療機関登録数：186件（R7.12.1現在） <p>② がん地域連携パスの運用比率について、施設別及び部位別に分析を行った。（資料6-4）</p> <p>③ パスの問題点・改善点について協議し、連携医療機関の負担軽減のため、各拠点病院へ情報提供を行う際の様式を簡素化した。また、各部位ごとの運用についても引き続き検討を行い、主に乳がんパス連携機関を増やすため各医療機関に協力を求めていくこととした。</p> <p>④ 医科歯科連携の推進について、県歯科医師会より情報提供をいただき、現状及び課題を明確化した。</p>
令和8年度活動予定	<p>① 広報に努めるとともに、医師会の協力を得ながら地域連携クリティカルパスのさらなる普及、推進を図る。</p> <p>② 各部位ごとの運用ならびにパス改訂の必要性について、引き続き検討を行う。</p> <p>③ 医科歯科連携体制の構築を推進し、がん地域連携クリティカルパスへの組み入れを継続的に検討していく。</p>